

## インフォメーション

学会ホームページ改訂  
のお知らせ

学会ホームページの改訂を、2015年12月1日に行います。ホームページ URL はこれまで通り、<http://www.arachnology.jp/> で変更ありませんが、内部ページへリンクされていた場合はリンク切れとなります。必要に応じて再リンクなどのご対応お願い致します。

HP改訂に当たり、新たに旧会誌「ATYPUS」の pdf ファイルを掲載いたしました。個人情報保護のため、各ファイルにはパスワードを設定しております。パスワードは全ファイル共通で「—」です。ファイル閲覧時にパスワード入力パネルが展開されますので、上記パスワードをご入力ください。

また、今回の改訂でページを幾つか増設しました。内容の誤り、追加すべき情報、など、お気づきのことがありましたらご連絡お願い致します。

ウェブサイト管理委員 桑田隆生  
kuwada.takao@nihon-u.ac.jp

### クモなぞなぞ

おしりの割合が一番大きいクモは  
な〜んだ？ (出題：須黒達巳)  
答えはギャラリーのコーナーで



## トピックス

日本蜘蛛学会第47回大会  
印象記

山崎健史

今年で47回目となる日本蜘蛛学会大会が、8月22日と23日に京都女子大学で開催されました。会場は女子大、移動はプリンセスラインバス、大学の門には警備員がいることが予想できましたし、授賞式もあったので、できる限り身だしなみは整えて行きました。例年通り約80名の参加者が集まり、自然史、分類、生物地理、行動、生態、生理、糸の応用など、多岐にわたる講演があり、内容も充実していました。私は2年ぶりの大会参加でしたので、久しぶりの方も多かったです。大会中楽しみにしているのが、中古文献や別刷りの販売ですが、今年はあまり種類が多くなく、少し残念でした。実は、『クモの学名と和名-その語源と解説』が出品されてはいないかと、毎回目を光らせています。

さて、この印象記を谷川さんに依頼されたのは大会中でしたが、長い猶予をもらっていたので、ダラダラと後回しにしてしまい、気がつけば、プログラムを見返しても、講演内容がうろ覚えになってきてしまいました。ただ、それでも印象に残っているのは、シンポジウム「クモ

研究における分子系統情報の利用:形態形質ではみえなかったこと」です。私自身、最近、形態情報を重視した分類学の研究室から分子情報も扱う系統分類学研究室に異動したこともあり、最も興味のある話題でした。シンポジウムの5講演を分類学者らしく類別してみると、以下の3つ、(1)分子情報に基づき、形態情報に基づく既存の分類体系の再検討をテーマにしたもの、(2)系統地理学な話題で、分子情報を用いて種分化や地理的分布プロセスを明らかにするというもの、(3)系統情報に、形質として生活史や寄生情報をのせ、それらの形質進化のプロセスを推定するもの、に分けることができると思います。

分類学に従事する身として興味があったのは、(1)分子情報に基づき、形態情報に基づく既存の分類体系の再検討をテーマにしたものです。形態も分子も共に重要な形質であることに違いはないのですが、分子情報には、形態情報よりも収斂進化の結果に惑わされにくい推定ができるという利点があります。形態情報のみで、単系統か多系統か、研究者間で意見が異なるような場合は、分子情報は新たな視点から、それらの問題解決に新たな糸口を与えてくれます。もちろん解析する遺伝子領域によって



講演の1シーン

結果が異なることも良くあるので、複数の遺伝子領域に基づいた系統推定は必要です。谷川さんや鶴崎さんの講演では、これまで単系統群だと考えられえきたグループが、分子情報によって多系統群だということが強く支持された例が紹介されました。これは分子情報が形態情報より信頼するに価するということに直結するわけではないですが、形態情報だけでは見えなかったものが明るみに出るという点で、分子情報利用の重要性を表していると思いました。

シンポジウムでは、これまでの形態情報に基づく分類体系の価値や分子情報が分類体系に反映されることの意味まで、話が広がっていきました。また、演者と質問者間での議論も盛り上がりました。分類学者の大部分は、系統を反映した分類体系の構築を目指しています。さまざまな仮説が検証されながら、ふるいにかけていくという健全な科学の進歩で、分類体系もそのような仮説検証にさらされながら構築されていくべきものと思います。しかし、分析する遺伝子領域によって、異なる樹形が導かれるようなケースも普通にあり、安易に新しい情報に飛びつき、その都度、分類体系を変えていたようでは、分類体系の実用性に少なからず弊害が出てきます。分類学者自身は、激変する分類体系についていけるかもしれませんが、一次資料として分類体系を利用して行われている応用研究や一般向けの出版物は、常に最新の情報をフォローするようなことは難しいかもしれません。そのような不安定な分類体系でも系統分類学の着実な進歩を表しているとも言えます。分類学者として、異なる複数の系統仮説が現れた時に、現時点で信頼するに足る系統樹を見極める力が、今後ますます必要になってくると感じました。

他にも馬場さんと井原さんのヤミサラグモ類の系統地理学的研究は、世界的に見ると小さな島国である日本国内でも、極めて多様な地理的な種分化が起きていることを実感する内容でした。また、松本さんによるクモヒメバチ種群における寄生習性などの進化をたどる内容は、私が現在行っている研究、アリグモとアリの様々な擬態関係が、アリグモ系統の中でどのように進化してきたのかというテーマに関連するものでもあり非常に興味深く参考になるものでした。

首都大に異動して2年が過ぎようとしていますが、初めて行う分子実験の面倒くささに辟易して、サボりがちでした。皆さんのアクティブな研究内容を聞くことで、モチベーションを立て直すことができました。分子情報は、今後増えて行くという話ではなく、すでに自然史系分野でも普通に使われるようになっていきます。私も、分子分析はあまり経験無いから分からない…などと逃げずに勉強に励んできたいと思いました。

(首都大・理工・特別研究員 PD)



## 同好会情報

ここでは日本各地にあるクモ同好会で発行されている定期刊行物の内容、採集会や講演会(総会・例会)の日程などを紹介する。興味を持たれた方は入会したり、行事に参加されてはいかがでしょうか。



### 三重クモ談話会 (会長：橋本理市)

会報「しのびぐも」を年1回発行。採集会・合宿・例会などを年数回実施。

しのびぐも 42号 (2015年7月1日発行)

橋本理市：ユウレイグモの不思議

貝發憲治：松阪市・多気町でセアカゴケグモの生息を確認

橋本理市：RDB改訂版委員会に参加して

熊田憲一：日本のファウナに入ったユウレイグモ

貝發憲治：三重県産クモ類目録 (III)

塩崎哲也：《短報》ノジマヒメグモの記録

塩崎哲也：《短報》チビクロドヨウグモの記録

三重クモ談話会：2014年度活動報告

三重クモ談話会：2015年度総会報告

採集会

2016年2月20日(土) 反省会・学習会

松阪市日野町カリヨンプラザ

詳しくは会のホームページをご参照ください。  
参加希望者は事務局（貝發）まで連絡してください

入会申し込み

〒515-0087 三重県松阪市萌木町7-4

貝發憲治（事務局）

Tel (Fax) 0598-29-6427

mail : kumo@mctv.ne.jp

会費 年 2000 円

中部蜘蛛懇談会（代表：緒方清人）

会報「蜘蛛」を年1回、「まどい」を年3回発行。  
採集会を年2~4回、総会・研究会を年1回実施。

蜘蛛（KUMO）48号(作成中)

採集観察会

本年度分は終了しました。

総会・研究会は2016年2月11日(祝)

入会申し込み他

全般について

〒472-0022 知立市山屋敷町東山10-6

緒方清人（代表）

Tel 0566-83-4474

E-mail:neon\_kiyotoi@ybb.ne.jp

入会・会費など

〒451-0066 名古屋市西区児玉1-8-24

柴田良成（会計）

Tel 052-522-1920

会費

正会員 年 3000 円（高校生以下 1000 円）

準会員 「まどい」のみ 1000 円

東京蜘蛛談話会（会長：新海栄一）

会報「KISHIDAIA」を年2回、「談話会通信」  
を年3回発行。採集会年4回・合宿年1回・  
総会例会などを年2回実施。

今年度の採集会は、渋沢丘陵で行います。

2016年2月21日(日)

小田急線渋沢駅改札口午前10時集合

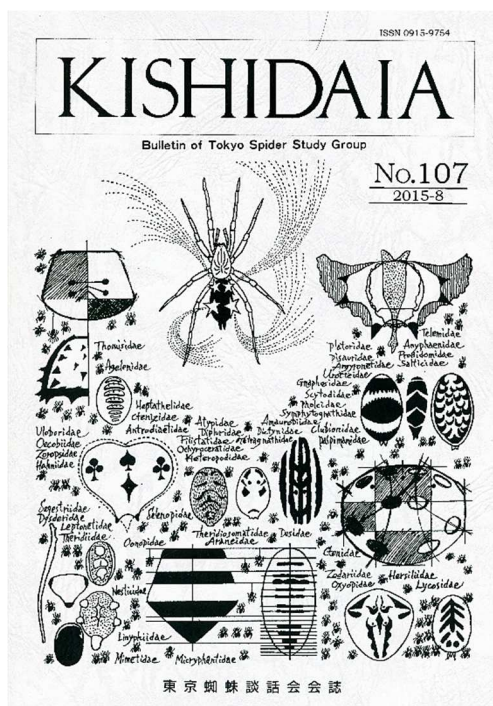
世話人：水沢栄子

連絡先：水沢携帯 090-6143-6942

KISHIDAIA 107号（2015年8月発行）

相知紀史：長崎県平戸市でのワスレナグモの発  
見及びその生態

新海 明・谷川明男：「クモ基本60」を上手く



活用するために そして完成形を目指しての  
注文も

新海 明：橋糸はワク糸にならない

#### DRAG L I N E S

小松 貴：香川県高松市女木島におけるイトグ  
モの記録

小松 貴：屋久島におけるハイイログケグモの  
記録

馬場友希・大澤剛士：長野県菅平で採集された  
クモ

馬場友希・大澤剛士：新潟県で採集されたクモ

馬場友希・田中幸一：秋田県で採集されたクモ

馬場友希：千葉県松戸市「21 世紀の森と広場」

のクモ 追加記録

馬場友希：農業環境技術研究所構内のミニ農村  
で採集されたクモ

馬場友希：福岡県福岡市で採集されたクモ

馬場友希・大澤剛士・村上勇樹：小笠原諸島の  
媒島・聳島・父島で採集されたクモ

馬場友希・田中幸一：青森県で採集されたクモ

馬場友希：福井県坂井市おけら牧場・ラーバン  
の森で採集されたクモ

馬場友希・田中幸一：石垣島で採集されたクモ

馬場友希：千葉県・茨城県の耕作放棄地で採集  
されたクモ

馬場友希：茨城県稲敷市浮島のクモ

和仁道大：クモ観察情報

初芝伸吾・甲野 涼：東京蜘蛛談話会 2011 年  
度観察採集会報告 八王子城跡のクモ類

仲條竜太・平松毅久：東京蜘蛛談話会 2013 年  
度採集観察会報告 日和田山のクモ

池田博明：2014 年度観察採集会報告 藤沢市  
新林公園のクモ

谷川明男：日本産クモ類目録 ver.2015R5

入会申し込み

〒186-0002 東京都国立市東 3-10-8

コンフィデンス高垣 105 (有) エコス

初芝伸吾 (事務局)

Tel 042-501-2651

E-mail:hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

会費 年 2000 円 (学生 1000 円)

**関西クモ研究会** (会長：田中穂積)

会報「くものいと」を年 2 回発行. 採集会・研  
究会例会などを年数回実施.

くものいと 49 号 (作成中)

採集会

本年度分の採集会は終了しました.

例会

2015 年 12 月 20 日 (日)

大阪市立自然史博物館で開催予定

入会申し込み

〒567-8502 茨木市西安威 2-1-15

追手門学院大学生物学研究室内

関西クモ研究会

Tel : 0726-41-9550 (加村研)

Fax : 0726-43-9432 (大学教務課)

会費 年 1000 円

**東京クモゼミ**

毎月 1 回, 第 1 土曜日に千葉県市川市の加藤  
宅で開催. 会費などなく誰でも参加できる.

連絡先 新海 明 042-679-3728

または, 加藤輝代子 047-373-3344



## 関西クモゼミ

会費などなく誰でも参加できる。

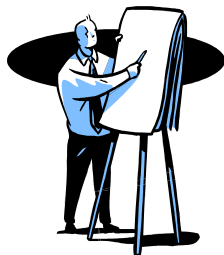
連絡先 吉田 真 077-561-2660

## メーリングリスト「クモネット」

会費などなく誰でも参加できる。入会の申し込みは e-mail で馬場友希まで。

ybaba@affrc.go.jp

## 言いたい！聞きたい！



## ジョロウグモの 隠れ帯

榎元敏也・榎元智子

コガネグモやウズグモなどの隠れ帯は良く知られており、これらのクモの場合、隠れ帯をつけることが普通で、隠れ帯の役割に関する研究も多い。

ところが、ジョロウグモの仲間の場合には隠れ帯をつけない網が普通である。沖縄などに分布するオオジョロウグモの隠れ帯については、新海（1985）などの報告があるが、本州に分布するジョロウグモの隠れ帯に関する報告はこれまで無かった。2014年9月7日に滋賀県大津市で網の中央より下に縦方向の隠れ帯をつけたジョロウグモの網を発見した（図1；9月8日に撮影）。その後、9月10日には網は張っていたが、隠れ帯は無くなっていた。他にも隠れ帯をつけた網があるかもしれないと考え、9月19日に周囲のジョロウグモの170の網を観察したが、このような隠れ帯をつけている網

は発見できなかった。どのような条件になるとこのような隠れ帯をつけるのか、今のところわからない。新海（1985）によれば、隠れ帯をつけていたオオジョロウグモの網はタテ糸・ヨコ糸数は少なく、網上部のヨコ糸は欠失しており、網下部のヨコ糸には粘性がなかったということである。今回、ヨコ糸の粘性について詳しく観察することができなかった。このような隠れ帯をつけるジョロウグモが他にも存在するのか、今後も気をつけて観察してみたい。

参考

新海 明 1985. Acta Arachnol., 34: 11-22.



図1. 隠れ帯をつけたジョロウグモ

## クモ類の婚姻贈呈

池田博明

求愛に際してオスがメスに餌をプレゼントする行動は婚姻贈呈 (Nuptial gift) として、シリアゲムシやオドリバエで有名になりました (Thornhill 1976, Thornhill & Alcock 1983) が、クモでも約 120 年以上も前にキシダグモの一種 *Pisaura mirabilis* で同様の行動が発見されていました (van Hasselt 1889). 近縁の日本産のアズマキシダグモ *Pisaura lama* でも板倉 (1987, 1993) によって確認され、板倉はハヤテグモ *Perenethis fascigera* でも婚姻贈呈を確認しています (Itakura 1998). 池田は『クモのはなし II』に「結婚プレゼント」としてキシダグモとコサラグモの婚姻贈呈を紹介したことがあります (図 1・図 2).

キシダグモとハヤテグモ、コサラグモの他に婚姻贈呈をするクモはいないのでしょうか。また、婚姻贈呈について何か新たな知見はないのでしょうか。論文を探索してみると、いろいろな種類や観点が出て来ていました。

### 婚姻贈呈をするクモ

2005 年までに婚姻贈呈をすると報告されているクモを、ポーランドのコズロフスキーとザブカが挙げていました (Kozłowski & Zabka 2005). 二人はコゲチャハエトリの一種 *Sitticus terebratus* のオスが自分が取った餌を放してメスへの求愛を行なった際に、オスの放した餌をメスが捕食したことから、これを一種の婚姻贈呈行動とみなし、報じる際にそれまでの記録をレビューしたものです。キシダグモの一種とハヤテグモのほかには、頭突起から

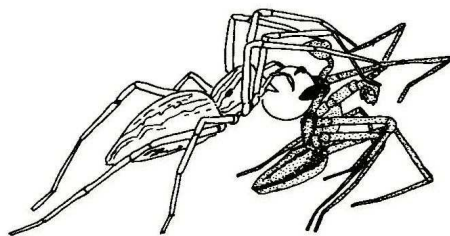


図 1. キシダグモの一種 *Pisaura mirabilis* の婚姻贈呈. メス (左) がオス (右) から餌を贈られている. Bristowe(1958)より.

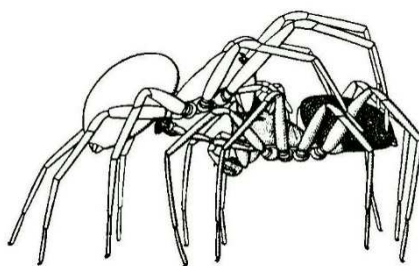


図 2. サラグモの一種 *Hypomma bituberculatum* の交尾. 上がメス (白っぽい方) で下がオス (黒っぽい方). メスの顎がオスのこぶをくわえている. Bristowe(1958)より.

体液を分泌給餌するサラグモの一種 *Barypma pratense*, メス受容を高めるフェロモンを放出するイソウロウグモの一種 *Argyrodes antipodiana*, メスの食事中に求愛行動が見られたオオドヨウグモの一種 *Meta segmentata* とウズグモの一種 *Uloborus geniculatus* と、数種類に多様な婚姻贈呈行動が見られます。コゲチャハエトリの例で二人が注目しているのは、狩猟中のオスが獲物を放して簡単に求愛にスイッチングしたことです。メスがオスの放した獲物をくわえるすきに、オスはメスのうしろに回り込み、捕食中のメスに乗り上がり交尾しました。キシダグモほど洗練された儀式化はされていないものの、一種の婚姻贈呈行為だとみなしています。

この後、新熱帯区の半水辺のクモの一種、サシアシグモの一種 *Paratrechalea ornata* でキシダグモ同様の婚姻贈呈が発見されています (Albo, Costa-Schmidt & Costa 2009). サシアシグモの一種では、オスが取った獲物を自分で食べるかメスへの贈呈にするかはメスの糸の存在が決定因子になっていることや、糸の誘起性はメスが成体に達してから 20 日後から増大すること (Klein, Trillo & Albo 2012) などが確認されています。ちなみにサシアシグモ科の日本のクモはシノビグモだけです。

#### 婚姻贈呈行動に関する課題と考察

キシダグモの一種の婚姻贈呈では、その後もいろいろな観点で実験が企画されていました。ギフトがない場合には交尾の成功率はどのくらい低下するのだろうか。性的共食いを防ぐのがギフトの目的なのだろうか。大きい餌のほうが交尾時間が長引くというものの、いったいどれくらいの交尾時間が必要なのか。なぜ獲物を糸で巻く必要があるのか。大きなギフトはメスの性選択に関連するのだろうか。見かけだけ大きくて中身のないニセ餌はあるのだろうか等。

##### (1) ギフトがなくても交尾はできる

ギフトを持たないオスでも供試したオスの 40% は交尾できました。ただし、ギフトを持ったオスの交尾成功率は 90% でしたから、ギフトを持ったオスの優位性に間違いはありません (Stålhandske 2001)。

##### (2) 共食いされたオスはいなかった

ギフトの有無も含めて 82 回の試行のうち、オスがメスに捕食された例は皆無でした。したがって、性的共食いを防ぐことがギフトの目的とは考えられません。ただし、交尾時間はギフトのサイズと正の相関があり、受精率は交尾時

間とともに増えます。ギフトの有無とサイズはメスの繁殖力や幼体サイズには影響しませんでした。したがって、ギフトはオスの交尾努力の現れと考えられます (Stålhandske 2001)。サシアシグモの一種でも同様でした (Albo & Costa 2010)。

##### (3) 糸で巻くことでメスに受け取られやすくなる

獲物をそのままメスに渡してもよさそうに思えます。実際のところ、昆虫の婚姻贈呈の例では獲物をそのままメスに渡しています。それなのになぜクモは餌を糸で包むのでしょうか。コストがかかると思われるのにもかかわらず。調べてみますと、糸で巻かれると獲物の凹凸が無くなってオスにとってもメスにとっても交尾中に扱いやすい (邪魔にならない) 形になること、メスは白くて丸い大きな包を好んで受け取ることが分かりました。形が丸く白い卵のうに似ることもメスの許容度を増しているのではないのでしょうか (Bollerup, Toft & Bilde 2008)。

##### (4) 満腹な大きいオスほど大きな包みをつくる

オスがギフトに投資する糸量を測定してみると、糸量は常に少量で、メスにとって栄養的価値はほとんどありませんでした。ただし、体長が大きいオスほど糸量が多く、満腹なオスほど少ない回数のラッピングで糸量を多くすることが出来ました。メスにとってはギフトの少量の糸よりも多量の糸を消化するほうが時間がかかることを考慮すると、オスは交尾時間を少しでも長引かせるために糸を使うのだと考えられます (Lang 1996)。満腹なオスほどギフトを繰り返し作ることができ、繁殖成功度を高めることも可能です (Albo, Toft & Bilde



2011).

(5) ニセ餌はなかった

オスが中身の無いニセ餌や食べられない餌をギフトに持ってメスをだますような行動は見られませんでした。ギフトは重いので、運んで走るオスのコストにもなります (Prokop, Pavol & Maxwell 2012)。ギフトはオスの質や適性を示すプレゼンテーションの役目も果たしており、メスの選好 (フィーメール・チョイス) にも関連していると考察してもよいでしょう。サシアシグモの一種では、オスの顎を白く塗る実験などを通して、白いものほどメスに受け入れやすくなることが検証されました (Trillo, Melo-González & Albo 2014.)。

#### 引用文献

- 池田博明, 1989. 結婚プレゼント. IN 梅谷献二・加藤輝代子編, クモのはなし II. 技報堂出版, 81-89.
- 板倉泰弘, 1987. アズマキシダグモの婚姻給餌. *Kishidaia*, (55): 1-2.
- 板倉泰弘, 1993. アズマキシダグモの生活史と婚姻給餌. *インセクトリウム*, 30(3): 4-9.
- Albo, M, J., L. E. Costa-Schmidt & F. G. Costa, 2009. To feed or to wrap? Female silk cues elicit male nuptial gift construction in a semiaquatic trechaleid spider. *Journal of Zoology*. Volume 277, Issue 4, p.284-290.
- Albo, M & F. G. Costa, 2010. Nuptial gift-giving behaviour and male mating effort in the Neotropical spider *Paratrechalea ornata* (Trechaleidae). *Animal Behaviour*, Volume 79, Issue 5, p.1031-1036.
- Albo, M.J., S. Toft & T. Bilde, 2011. Condition dependence of male nuptial gift construction in the spider *Pisaura mirabilis* (Pisauridae). *Journal of Ethology*, Volume 29, Issue 3, pp 473-479.
- Bollerup, K., S. Toft & T. Bilde, 2008. Why Do Males of the Spider *Pisaura mirabilis* Wrap Their Nuptial Gifts in Silk: Female Preference or Male Control? *Ethology*, 9th, JUL.
- Bristowe, W. S., 1958. *The World of Spiders*. Collins.
- Itakura, Y. 1998. Discovery of nuptial feeding in the spider, *Perenthis fascigera* (Araneae: Pisauridae). *Acta Arachnologica*, 47(2) : 173-175.
- Klein, Trillo & Albo., 2012. Sexual receptivity varies according to female age in a Neotropical nuptial gift-giving spider. *J. Arachnol.*, 40:138-140.
- Kozłowski, M. & Zabka, M., 2005. Nuptial feeding in *Sitticus terebratus* (Clerck, 1757) (Araneae: Salticidae). *Newsl.Br.arachnol Soc.*, (105) :6-7.
- Lang, A. 1996. Silk Investment in Gifts by Males of the Nuptial Feeding Spider *Pisaura mirabilis* (Araneae: Pisauridae). *Behaviour*, 133(9/10): 697-716.
- Prokop, Pavol & Michael Maxwell, 2012. Gift carrying in the spider *Pisaura mirabilis*: nuptial gift contents in nature and effects on male running speed and fighting success. *Animal Behaviour*, 83: 1395-1399.
- Stålhandske, P., 2001. Nuptial gift in the spider *Pisaura mirabilis* maintained by sexual selection. *Behavioral Ecology*, 12 (6): 691-697.
- Thornhill, R 1976. Sexual selection and paternal investment in insects. *American*

Naturalist, 110:153-163.

Thornhill, R. & J. Alcock, 1983. The Evolution of Insect Mating Systems. Harvard University Press.

Trillo, M.C., V. Melo-González & M.J. Albo, 2014. Silk wrapping of nuptial gifts as visual signal for female attraction in a crepuscular spider. Naturwissenschaften, Volume 101, Issue 2, pp 123-130.

Van Hasselt, A. W. M. 1884: Waarnemingen omtrent anomalien van de geslachtsdrift bij spinnen-mares. Tijdschr. Ent. 27: 197, 200-204

## クモ切手の風景 7

笹岡文雄

初日カバー，英名もそのまま，**First Day Cover (FDC)**といえます。切手収集家以外の人にはあまりなじみのない郵趣品の一つかもしれません。切手の発行日，その日に業者や個人，場合によっては郵政当局が封筒を用意し，貼付した切手にその日の消印を押した記念封筒の

ことを言います。そのため，実際に発送されないのに消印が押され，当然宛名も記されません。消印も郵政当局が作成した当日限りの記念消印が押されることもあり，またその切手にちなんだ絵柄付きの封筒も多く存在します。

1965年スリナム発行の児童福祉にちなんだ切手のFDCです。スリナムといってもピンとくる人は多くないかもしれません。南米の大西洋岸，イギリス領，オランダ領，フランス領と3つ並んだギニアの内の1国，旧オランダ領ギニアの独立後です。イギリス領ギニアは独立してガイアナになり，その隣国といえばわかるかもしれません。印刷は宗主国オランダです。通貨は現在，スリナム・ドルですが，切手発行の当時はスリナム・ギルダー，これもオランダになっていました。

この国は1975年の独立以前より1994年に中断するまで，下図のような寄付金付きの児童福祉切手を発行していました。例年5種程度発行されていますが，図案は年ごとに関連性がなく，共通なのは寄付金付き，子供のイラストと「Voor het Kind」と印刷されている文字だけです。それがあつたのでようやく，児童福祉切手とわかる図案の年もあります。この1965年版の切手の図案，子供たちが動物と戯れてい



ますが、FDC の封筒を含め全てに線描とはいえ円網種のクモが描かれています。なぜ、児童福祉にクモなのでしょう。

スリナムには西アフリカより伝わったアナンシー伝説があり、それは子だくさんの英雄で、その姿は人間であったり蜘蛛であったりします。元はそのあたりかもしれませんが、日本の文献では正確なことはわかりませんでした。ただ日本でも「くものアナンシとねばねばにんぎょう」というタイトルで絵本が出ていますので、その伝説の概要はわかると思います。

切手の国名は、独立前 1873 年の最初の切手から一貫して「SURINAME」表記していました。



## 新刊紹介



高須賀圭三

フィールドの生物学 17

クモを利用する策士、クモヒメバチ

東海大学出版部 ISBN 978-4-486-01998-5

2000 円+税

この 2 冊の本に共通して言えることは、夢中になって研究している人の書いた本は、とても面白いということ。(谷川)



島野智之

ダニ・マニア《増補改訂版》

八坂書房 ISBN 978-4-89694-188-3

1900 円+税

## 採集情報

日本各地で採集された稀産種や、都道府県初記録、島初記録、南限更新、北限更新など分布上の重要情報について掲載する。これを読み、「私もこんな種類を採集しているぞ」という方はその情報を是非お寄せいただきたい。

【このコーナーに掲載する記録は、証拠標本か、同定のキーとなる特徴がはっきりと撮影されている写真かのどちらかがあるものに限らせていただきます。目撃談のみのものにつきましては取り上げません。また、幼体の記録についてはいろいろと議論のあるところですが、とりあえず現段階では、参考記録として掲載を継続させていただきます。】

**ウデグロカタオカハエトリ** 長野県諏訪市車山 標高 1712m 2♂ 2014年6月26日 緒方清人採集・須黒達巳写真にて同定



ウデグロカタオカハエトリ (撮影：緒方清人)

**カコウコモリグモ** 兵庫県相生市那波南本町 1♀ 2015年8月14日 高木 俊採集同定



カコウコモリグモ

**カトウツケオグモ** 広島県廿日市市阿品 1♀ (黒色型) 2015年10月7日 維摩節生採集・谷川明男写真にて同定



カトウツケオグモ (撮影：維摩節生)

**ワクドツキジグモ** 広島県廿日市市阿品 1幼体 2015年10月10日 維摩節生採集・谷川明男写真にて同定

**クモマハエトリ** 千葉県印西市 1♀ 2015年5月4日 工藤泰恵採集・池田博明同定

**クロナンキングモ** 奈良県宇陀市榛原三宮寺トマト圃場 トマトの振り落とし 1♀ 2015年8月25日 神川諭採集、馬場友希同定





クモマハエトリ (撮影：須黒達巳)

マツモトハエトリ 奈良県橿原市四条町 露地ナス圃場 1♂ 2015年6月30日 神川諭採集・馬場友希同定



マツモトハエトリ

スズミグモ 茨城県つくば市 筑波大学北部の森 (36°6'5.48"N 140°6'41.30"E) 1♀ 2015年7月20日 鈴木佑弥採集同定

トカラハエトリ 愛媛県八幡浜市舌間 巖島神社 (33°26'37.31"N 132°24'38.76"E) 1♀ 2008年7月1日 1♂ 2008年6月4日 毛利俊樹写真撮影・西川喜朗／池田博明写真にて同定

ムツトゲイセキグモ 静岡県磐田市見付 国分寺公園内の桜の葉裏 (34.71888N, 137.85055E) 1幼体 2015年5月28日 芹田凌平採集・鈴木佑弥同定

キエビグモ 静岡県浜松市天竜区二俣町鹿島, 天竜川沿いの歩道脇柵上 (34.85499N, 137.80111E) 1♀ 2015/4/18 芹田凌平採集・鈴木佑弥同定

ヒメカラスハエトリ 静岡県浜松市天竜区緑恵台, 児童公園付近の谷の照葉樹の葉上 (34.86694N, 137.79444E) 1♂ 2015年4月25日 芹田凌平採集・鈴木佑弥同定

ヒトリコゲチャハエトリ 静岡県磐田市見付, 住宅街の壁面 (34.71638N, 137.85139E) 1♀ 2015年5月11日 芹田凌平採集・鈴木佑弥同定



ヒトリコゲチャハエトリ

ムネグロヒメグモ 静岡県磐田市見付, 国分寺公園の看板の裏側 (34.719444N, 137.850555E) 1♀ 2015年6月18日 芹田凌平採集・鈴木佑弥同定

ゲホウグモ 静岡県磐田市見付, 国分寺公園の桜の枝間 (34.71888N, 137.85055E) 1幼体 (飼育後♀成体) 2015年4月28日 芹田凌平採集・鈴木佑弥同定

ゴマジロオニグモ 茨城県つくば市天王台, 一

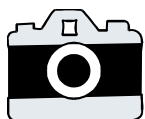


の矢宿舎近辺の林内（36.7369N，  
140.55611E） 1♀1♂ 2015年9月30日  
鈴木佑弥採集同定

ヒシガタヒメグモ 静岡県浜松市天竜区緑恵  
台，シダ類の葉裏（34.52181N，  
137.474608E） 1♀ 2015年8月24日  
鈴木佑弥採集同定



ヒシガタヒメグモ  
(新海 明・谷川明男集約)



## ギャラリー



なぞなぞの答え  
オオハシリグモ  
(全体の3/7がオシリ)  
撮影・回答 須黒達巳

## 遊絲原稿送付先

〒192-0352 八王子市大塚 274-29-603  
新海 明まで

E-mailでは dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp  
(谷川明男)まで

発行は、年2回(5月、11月)の予定。締切は発行月の前月末日です。

## 日本蜘蛛学会

homepage : <http://www.arachnology.jp/>

### 入退会は

庶務幹事

中田兼介

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町  
35 京都女子大学

E-mail: nakatake@kyoto-wu.ac.jp

### 会費の問い合わせ及び住所変更は

会計幹事

加藤輝代子

〒272-0827 千葉県市川市国府台 5-26-16-  
206

E-mail : kiyoko\_kato@tce.ac.jp

年会費 正会員 7000円(学生は5000円)

郵便振替口座 00970-3-46745

日本蜘蛛学会

---

---

遊絲 第37号

2015年11月28日発行

編集者 新海 明，谷川明男，池田博明

発行者 日本蜘蛛学会 会長 宮下 直

---

---